

科目名：看護技術論Ⅳ (Fundamentals of Nursing Skill Ⅳ) 履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員：飯塚雅子（実務経験有） 北村容子（実務経験有）		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	本科目は、シミュレーション学習を取り入れ、基礎的な看護技術を獲得することを目的とする。また、基礎的な看護技術を模倣レベルから根拠をもって「できる」というレベルに到達するための学習方法を合わせて獲得できることをめざす。 CP2, 3, 4 関連する。 科目No. KNz-130		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①患者が生活する療養環境について説明することができる。 ②患者にとっての血圧測定や環境整備の必要性を理解し、実施することができる。 ③看護技術習得に向けて、自ら課題をみつけ解決方法を明確に挙げることができる。		
授業概要	日常生活支援の技術やヘルスアセスメント論の学びを基盤に、シミュレーション学習等を通じて自己の技術の到達度や課題を明確にし、基礎的な看護実践能力を身につける。		
評価方法	評価は以下の課題で行うため、本試験中の筆記試験は行わない。課題の詳細は授業内で提示する。 ・演習前課題（自己学習） 20 点（飯塚） ・知識に関する確認テスト（1）（2） 20 点×2 回実施＝40 点（飯塚、北村） ・演習中課題（1）（2）（3） 5 点×3 項目＝15 点（飯塚、北村） ・演習後課題 25 点（飯塚） 課題に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】 1.9 時間 【復習】 1.9 時間		
教科書	系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 任 和子ほか、医学書院		
参考書	必要時、提示する。		
問い合わせ連絡先	飯塚雅子 3 号館 3 階研究室 iizuka.masako@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします 北村容子 3 号館 3 階共同研究室 y.kitamura@kdu.ac.jp 同上		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2 (/) 限目	科目ガイダンス ①授業の概要について理解できる。 ②シミュレーション学習のイメージ化ができる。 ③シミュレーション学習に必要な学習内容を抽出し、課題に取り組むことができる。 知識に関する確認テスト(1) ①確認テストに臨むことで、看護技術の基本的な知識を明確にすることができる(20点)。 演習前課題(自己学習):内容、提出日時は授業内で提示する(20点)	[予習]基礎看護技術Ⅰ基礎看護学②序章を熟読する。 [復習]教科書やナーシングチャンネルを活用し、事前課題に取り組む。事例の理解に必要な内容の学習を行う。 [キーワード]看護技術、看護技術の特徴、シミュレーション、事例の理解、標準予防策、環境整備、血圧測定、援助計画、ポートフォリオ、カンファレンス	講義/演習(個人ワーク/グループワーク) ○飯塚 北村 横正
3・4 (/) 限目	知識に関する確認テスト(2) ①確認テストに臨むことで、対象理解に不足する部分を明確にすることができる(20点)。 看護基本技術の習得—感染防止技術 ①個人防護用具の手順・根拠・留意点を確認しながら着脱できる。 ②学生同士で評価・フィードバックし、ポートフォリオに反映できる。 ③教員の演示から、自らの課題・改善点を見出し修正することができる。 演習中課題(1):内容、提出日時は授業内で提示する(5点)	[予習]演習前課題を見直す。教科書とナーシングチャンネルを活用し、イメージトレーニングをする。 [復習]授業の内容を振り返り、ポートフォリオの追加・修正を行う。反復練習をする。 [キーワード]感染防止、標準予防策、タスクトレーニング、反復練習、ポートフォリオ、カンファレンス	確認テスト/講義/演習(グループワーク) ○飯塚 北村 横正
5・6 (/) A:限目 B:限目	看護基本技術の習得—環境調整技術 ①環境整備に必要な着目点に気づくことができる。 ②一般的なベッド周囲の安全確保と心理的安定につながる環境整備の方法について、根拠・留意点を確認しながら実施できる。 ③教員の演示から、自らの課題・改善点を見出し修正することができる。 演習中課題(2):内容、提出日時は授業内で提示する(5点)	[予習]演習前課題を見直す。教科書とナーシングチャンネルを活用し、イメージトレーニングをする。 [復習]授業の内容を振り返り、ポートフォリオの追加・修正を行う。反復練習をする。 [キーワード]環境整備、私の見た患者さん、タスクトレーニング、反復練習	演習/タスクトレーニング ○飯塚 北村 横正

<p>7・8 (/) A：限目 B：限目</p>	<p>看護基本技術の実践－血圧測定</p> <p>①血圧測定の手順・根拠・留意点を確認しながら実施できる。</p> <p>②学生同士で評価・フィードバックし、ポートフォリオに反映できる。</p> <p>③教員の演示から、自らの課題・改善点を見出すことができる。</p> <p>演習中課題(3)：内容、提出日時は授業内で提示する(5点)</p> <p>演習後課題：内容、提出日時は授業内で提示する(25点)</p>	<p>[予習]演習前課題を見直す。教科書とナースিংチャンネルを活用し、イメージトレーニングをする。</p> <p>[復習]授業の内容を振り返り、ポートフォリオの追加・修正を行う。反復練習をする。</p> <p>[キーワード]標準予防策、血圧測定、タスクトレーニング、反復練習、ポートフォリオ</p>	<p>演習／タスクトレーニング</p> <p>○北村 飯塚 横正</p>
--------------------------------------	--	--	--